



任意団体・市民共同発電をひろげる城陽の会はNPO法人格取得へ

6月8日（土）に鴻巣会館で経過説明会と設立総会と報告会を開催

詳しくは事務局又はきょうとグリーンファンドのh p (http://www.kyoto-gf.org/) をご覧下さい。

各地の市民共同発電所 紹介

今回はコープさっぽろのメガソーラー発電所をご紹介します。

帯広に市民出資のメガソーラー完成 (2013 年 03 月 22 日 十勝毎日新聞社)

コープさっぽろ(札幌、大見英明理事長)が帯広市内2カ所で建設していた、出力約1.2メガワットの大規模太陽光発電施設「コープ・市民ソーラーとかち南町発電所」(南町南6線)と、同0.75メガワットの「コープ・市民ソーラーとかち川西発電所」(川西基線24)が完成し、稼働を開始した。両施設の総工費約7億円のうち、約3億円を組合員が出資(メガソーラー債)しており、市民出資によるメガソーラーとしては全道初となる。

南町発電所は約3万2000平方メートルの敷地に約5000枚のモジュール(パネル)を設置。建設費用は4億1000万円で、年間予測発電量は135万キロワット時としている。

川西発電所は約2万平方メートルの敷地に約3100枚のモジュールを設置。建設費用は2億9000万円で、同82万4000キロワット時としている。



【コープ・市民ソーラーとかち南町発電所】

21日午後2時半から南町発電所で行われた竣工(しゅんこう)式には関係者約40人が出席。神事に続き、運営を担うコープさっぽろ子会社のエネコープ(札幌)の野坂卓見社長ら8人がテープカットを行った。野坂社長は「皆さんの協力で完成してほっとしている。今後、親子見学会なども計画している。メガソーラーをきっかけに、自然エネルギーに関心を持ってもらえれば」と話していた。

注:メガソーラー事業は、コープさっぽろの100%子会社、エネコープ(本社・札幌市)が担当。

発電総量は、約220万キロワット時で一般家庭600戸分に相当する。

市民共同発電をひろげる城陽の会

〒610-0121 城陽市寺田今堀 52-106

TEL/FAX 0774-55-4190